



院内学会開催される

学術委員会
薬剤部長 大久保 吉弘

小正月を過ぎた1月17日土曜日の午後、第3回院内学会が開催されました。この学会は、日常の院内での診療、看護の問題点や業務の効率化などの改善点を、職種を超えた討論の場にするを目的に

開催されてきました。今回で3回目になりますが、過去2回は12月の忘年会の前に開催されていました。しかし、今回は日程の都合で1月開催となりました。

今回の学会の特徴は、演題数が27題と、過去2回の発表数と比較して10題ほど多く、参加人数は115名と土曜日の午後にもかかわらず予想以上の参加があり、この学会への職員の意気込みが感じられました。また、発表者は看護部9名、診療協力部8名、診療部6名、薬剤部3名、管理部1名であり、院内各職場からの発表がありました。特に今回は、感染対策委員会、緩和ケ



J A 長野厚生連安曇総合病院

き ず な

第264号

発行所:〒399-8695
北安曇郡池田町池田3207-1
TEL(0261)62-3166代
J A 長野厚生連安曇総合病院
発行責任者:院長 中川 真一
編集:きずな編集委員会
<http://www.azumi-ghp.jp/>

アチーム、がん診療プロジェクト会議、呼吸器カンファレンス、NST口腔機能改善チームなどの多職種が協同で診療やケアに当たるチームからの発表があり、当院でのチーム医療が確実に定着しつつあると思われました。

発表形式は、4つのセッションに分かれており、複数題提出の職場からの発表が偏らないように配慮されていました。セッションの座長は、整形外科谷川医師、呼吸器外科花岡医師、内科早野医師、精神科村田医師であり、座長の手馴れた司会進行により、各発表に対して会場からは活発な質問があり、発表後の討論は活気にあふれていました。特に最前列に座した中川院長は、各発表にたいして問題点の指摘や的確なアドバイスを



ない、また谷川副院長からは教育的な指導発言があり、発表者だけでなく会場の職員も大いに参考になったと思われ

ます。途中3回の休憩時間を挟みながら、学会が終了したのが4時50分と、4時間を超す長丁場でした。発表時間は5分、質疑応答時間が3分であり、この短い時間内に論旨をまとめることは難しい作業ですが、発表時間の遵守、アニメーションを効果的に利用したスライドなど、回を増すごとに内容の向上が見られました。また、今回の発表の中には、県内や全国の学会に発表できると思われる内容もあり、今後の当院でのさらなる学術的向上、医療の質的な向上が期待される学会でした。

四季おりおり

「寒明の風雨なりしや夜を徹し(町春草)」「立春や娘の膝まろき夜の疊(畑山讓二)」暦の上の立春は、実際の春の訪れを知るに程遠いと思いきや、今年の二月はゆるい雨の幕開けとなりました。寒の厳しさは辛くとも、こう手加減されると不安になるといふ身勝手な心持ちです。▼一月は何かと世間が喧しいまま過ぎゆきました。かの大統領就任式で、黒人の聴衆が真っ白な息を吐きながら両の手を握りしめて涙を浮かべていたさまが印象的でした。彼らは後にその日を、凍てつく寒さとともに想い出すのでありましよう。▼翻ってわが不穏な気分を紛らさんと庭に出て、残念ながら草はまだ萌え出ず、剪定を始めるにも新芽は固く役不足です。色の乏しい林は寂しく、いま暫くは花屋から賑わいを調達するといいたしましよう。「水仙や束ねし花のそむきあひ(中村汀女)」「シクラメン花のうれひを葉にわかち(久保田万太郎)」

初期研修を 振り返って



初期研修医
阿部 克哉

この原稿はシンシンと雪の降り積もる白馬診療所で書いています。

一昨年の春に医師として本当に患者さんの役に立てるのが不安一杯でスタートしたことがつい先日のごとくのように思い出されますが、指導してくださった先生方やスタッフ

「おだいじに」 のあたたかさ



初期研修医
安藤 大史

荘厳な北アルプスと裾めぐる清流、田畑、人々の暮らし、ふるさと安曇野は魅力にあふれています。

他がうらやむそんな環境で生活を営んでいる皆さんでも、病んでしまうことはありません。私たちは、また元気にくらし

の皆さんに支えられて、何とかここまでやってきました。最近になってようやく少し

仕事にも慣れ、患者さんに何が必要なのかをくみ取れるようになってきました。常に患者さんの命を預かっている責任の重大さをかみしめて、今後、謙虚な気持ちを忘れることなく、少しでも患者さんの役に立てるよう誠心誠意努めていきたいと思っております。

込めて薬を処方し、入院治療をしています。医療に光を与えるのは医療者と患者・家族・地域の温かな交流だということ。これは初期研修の2年間で学んだことの一つです。地域の皆さんとの数々の出会いに数えていただきました。今春から私は信大病院産婦人科で勤務することが決まっています。地域に貢献できる医師になりたいと思います。いずれお会いした時にはよろしくお願ひいたします。

看護師募集に 願いをこめて

看護部長 薄井 百子

凍てつく寒さに冬の厳しさを実感した信濃大町駅。「いつもお世話になっていきます」と逆に励まされた信濃松川駅。登山者姿の方が時々みられた穂高駅。チラシを見て「看護学校は無理無理」と言いながらも笑顔を返してくれた高校生がいた明科駅。国政選挙の候補者の演説と重なり少々とまどってしまった豊科駅。これは12月3日～1月7日の間に5カ所の駅前では早朝、通勤通学の方々に「看護師募集」のチラシを合計1千500枚ほど配布した時の様子です。今回はじめての街頭での募集活動を実施した背景には、通常の看護師確保対策では、通年以上の看護師確保は、はかれないと判断したからです。夜勤業務が必至の看護師は、結婚や出産で一旦退職する人が多く、その方々に再就職してもらうことができれば、と考えるからです。そのためには、できるだけ広い地域を対象に

呼びかける必要がありました。現在までに10名の方から問い合わせがありました。実際に就職したいとなると、様々な不安をいただく方が多いため、医療機器や電子カルテなどの事前研修も計画いたしました。また1才～2才児をかかえておられる方には院内育所を利用していただくことも可能といたしました。

当院は312床の病院で看護職員は230余名ですが、もう少し増員することで、これからの医療の高度化や高齢者医療により手厚く対応できるものと考えています。

地域医療を発展させるためにぜひ看護師確保にご協力をお願いいたします。



ひむらひむら 続けていること

地域福祉科 大塚 康平

昔から体を動かすことが好きだったので、今も継続しているのが、野球です。今年度からは早起き野球チームに2つはいつて野球をしたり、最近では中学生の野球チームの練習を手伝ったり、試合を見に行ったりしています。

早起き野球は5時半頃から1時間半ほどの試合をするので、良い運動になっています。それによって知り合った人もいてとても楽しいです。しかし、去年の個人的な成績は悪く、今年はまだ少し良い結果を残したいです。

中学生の野球は10年ほど野球に携わってきたはずなのに、知識や技術はまだまだ。子どもたちに教えられることは数少ないけど、子どもたちと野球を一緒にすることが楽しくて今後も手伝わせてもらおうかと思っています。

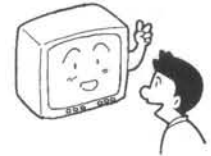
皆様から寄せられた「声」(ご意見)のご紹介

ご意見 外来の待合にあるテレビモニターは、気分が紛れてよいが音が聞こえない。もう少し大きくな
らないか。

お答え モニターの音量については様々な意見を伺っています。システムの各科外来ごとの調整は困
難なため、“なかなかちょうど良い”ということは難しい状況です。外来診療や患者呼び出し等
に支障がないよう調整していますので、今後もお気づきの点がありましたらお伝えください。

ご意見 病衣にポケットを付けてもらいたい。

お答え ご要望の件につきましては、今までにも複数の患者さんから同様の声をいただ
いております。病衣を取り扱っている業者に確認したところ、当院に限らずポ
ケット内に物を入れたまま洗濯に回ってしまうことがあり、対応に困ってポケットを廃止した
経過があるということでした。そこで当院では、数年前からボランティアの方に15cm大のポ
ケットを作っていただき各病棟に配布しています。病棟のナースステーションに置いてあり
ますのでご利用ください。すでに400枚くらい作成していただき、使用されている患者さんには
好評です。今後、病衣更新の際にはポケットを付けていただけるよう意見を伝えていきます。



トピックス・アズミ

▼1月5日、仕事始めの式を
行いました。

▼1月14日、労働組合の旗開
きを行いました。

▼1月17日、第3回院内学会
を開催しました。

お知らせ

このコーナーは趣味のこと、
日ごろ思っていることなど自
由なテーマで書いていただい
た文章を掲載する予定です。
掲載希望のかたは400字程
度でお送りください。投稿さ
れるかたは、住所、氏名、電
話番号をご明記ください。掲
載時には匿名とすることも可
能です。お送りいただいた原
稿は原則返却いたしません。
また必ず掲載されることをお
約束することはできませんの
で、ご了承ください。

メール：病院ホームページから
FAX：(0261)62-2711

ボランティアコーナー

暦の上では春を迎える2月
ですが、まだまだ朝は布団か
ら出難い今日この頃です。

さて、ボランティア運営委
員会では、2009年のカレ
ンダーを写真部が作成する際
に協力させていただきました。

各病棟の病室や外来に貼ら
せていただいておりますので、
ぜひご覧ください。



編集後記

私の趣味は読書です。推理
小説からファンタジーまで様々
な内容のものを毎日寝る前に
読むのがとっても楽しみな時
間の一つです。本は色々な考
え方や、物事の見方など教え
てくれてとっても興味深いで
す。今後もより多く本を読み、
人間性を高めていきたいです。

(S・I)

安曇総合病院理念

私たちは、皆さまに満足いただける
親切・安全な保健・医療・福祉サー
ビスの提供につとめます。

私たちは、事業活動を通じJAG
グループや地域の関係機関と連携し
豊かな地域づくりに参画します。

私たちは、皆さまとともに病気の
予防と早期発見につとめ地域の健
康増進に貢献します。

私たちは、安定した運営基盤のも
とに医療内容の充実と療養環境の
改善につとめ、皆さまに信頼され
る病院づくりをめざします。

基本方針

・皆さまが満足できる適切で安全な医
療の提供につとめる。

・皆さまの権利とプライバシーを尊重
する。

・皆さまへ十分な説明をし、理解と同
意をいただくことを全ての医療活動
の前提とする。

・近隣医療・福祉施設と連携し、地域
医療・福祉の充実につとめる。

・地域のニーズに即応できる救急医療
体制の整備充実につとめる。

・在宅医療支援活動の増進につとめる。
・保健予防活動に積極的に取り組み、
地域の皆さまの健康・福祉の増進につ
とめる。

・適切で明確な病院運営方針を策定し、
その実現につとめる。
・厚生連の諸活動やその他の文化・研
究活動に積極的に参加する。

当院は2004年に厚生労働省から臨床研修指定病院
の指定を受けています
安曇総合病院臨床研修理念
1、医師としての基本的な診察能力・態度、
技能・知識を身につけ、広い視野
で医療ができることを目標とする。
2、患者に対し誠意を持ち心の通った
診察ができる医師を育成し、医学の
進歩と地域医療の発展に貢献する。

《 担 当 医 表 》

平成21年2月

		月	火	水	木	金	土
内 科	内科(一般)初診	久野裕司 多田井敏治	東方壮男 塩月記代	川上裕隆 池川香代子	岡田光代 塩月記代	早野敏英 多田井敏治	池川香代子 多田井敏治
	内科(一般)再診(予約制)	川上裕隆 東方壮男 林田研介	川上裕隆 岡田光代 林田研介 池川香代子	早野敏英 東方壮男		中川真一(9時30分~) 川上裕隆 林田研介	早野敏英 岡田光代
	循環器内科	東方壮男	池田宇一(信大)	東方壮男	矢嶋紀幸(信大)	東方壮男	
	呼吸器内科	花岡正幸(信大)	岡田光代		岡田光代		藤本圭作 (信大:第1のみ)
	神経内科	中川真一 (9時30分~)	浅野昌宏	中川真一 (10時~)	林田研介(10時~) (紹介患者さんのみ)		林田研介
	血液内科		川上裕隆	川上裕隆			
	消化器内科	久野裕司		久野裕司			
専門外来 (信大医師)				一條哲也(肝臓) 上條祐司(腎臓)		信 大 (リウマチ・膠原病)	
精 神 科 ・ 心 療 内 科	精神科 心療内科	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 長村哲周 古田 康 衛藤高明	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 長村哲周 古田 康 樋端佑樹	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 長村哲周 古田 康 衛藤高明	村田志保(第2・3・4・5) 鬼頭 恆(第1・3・5) 中村伸治(第1・2・4) 長村哲周 古田 康 樋端佑樹	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 長村哲周 古田 康 衛藤高明	鬼頭 恆 中村伸治 古田 康 樋端佑樹
	認知症外来				浅野昌宏		
小 児 科	午前	信 大 原 敏博	保刈 健 (原 敏博)	原 敏博 (保刈 健)	保刈 健 (原 敏博)	原 敏博 又は 保刈 健	信 大 (原敏博又は保刈健)
	午後	特殊外来(予約)	乳児検診(予約)		慢性疾患(予約)	慢性疾患(予約)	
外 科	一般外科	金谷 洋	佐藤敏行	佐藤敏行	金谷 洋	金谷 洋	佐藤敏行
	呼吸器外科	花岡孝臣(午後)			花岡孝臣		花岡孝臣
	形成外科 (受付15時30分まで)		三島吉登(信大) (13時から診療)				
	乳腺内分泌外科			信 大(乳腺) (完全予約制)		信 大(甲状腺)	
整 形 外 科 (受付10時30分まで)	最上祐二 森岡 進 柴田俊一 王子嘉人 (受付9時30分まで)	谷川浩隆 二木俊匡 柴田俊一 高橋 淳(信大)	最上祐二 森岡 進 柴田俊一 王子嘉人	谷川浩隆 森岡 進 二木俊匡	谷川浩隆 最上祐二 二木俊匡 畑 幸彦(信大)	(輪 番)	
皮 膚 科	河内繁雄	河内繁雄	河内繁雄	河内繁雄(第1・2・3・5) 信 大(第4)	河内繁雄 後藤康文(第2・4・5)	河内繁雄 後藤康文(信大)	
泌 尿 器 科			石塚 修(信大)				
産 婦 人 科	信 大	曾根原衛雄	信 大		信 大		
眼 科	太田いづみ	今井玲子		太田いづみ・今井玲子 (午後コンタクトレンズ要予約)	太田いづみ (受付10時まで)	今井玲子	
耳 鼻 咽 喉 科		信 大 (14時から診療)			信大(14時から診療) (第2・4・5土曜の前日のみ)	信 大 (受付11時まで)	
放 射 線 科	信 大			信 大			
麻 酔 科 (受付11時まで)	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	
リハビリテーション科	緒方洪之	王子嘉人	緒方洪之	中川真一	柴田俊一		
歯科 口腔外科	中寫哲・酒井洋徳	中寫哲・酒井洋徳 信 大(午後)	中寫哲・酒井洋徳	中寫哲・酒井洋徳	中寫哲・酒井洋徳	中寫哲・酒井洋徳	

☆第2・4・5土曜日(2月14日・28日)と、2月11日(祝日)は休診です。